

■トラック 1

●場所：社長室

……ったく。

会議、無駄時間多過ぎ。

要点はちゃんとまとめて来いよ、幹部のやつら。

なにじーっと突っ立ってんの？

することないなら、オナニーでもしとけ。

そのために雇われてんだろ？

……それでいい。

やっぱりオスのオナニーを見るのは仕事が捗る。

そのまま続けてろ。

……にしても、ちゃんと勃起させて偉いな。

昨日も散々抜いてやったのに。

やっぱりオマエを卑処にして正解だったな。

ふう。

……よし。

急ぎの仕事は終わりだな。

さて、少し休憩を取るか。

ちゃんとオナニー続けているな。

感心感心。

オマエの業務内容だから当然だが。

たまに勘違いしてるようだから念押しに今日も言うぞ？

オマエの業務は、アタシの性欲発散のみ。

いつでもどこでもアタシの命令に従う慰み者——それが卑処。卑しいところと書いて卑処。

まさにドMのオマエにぴったりの名前と役職だ。

今まで何人か卑処を雇ってはみたが……今のところオマエが最高だ。

体の相性もいい。

それに何より、アタシに従順なところが気に入っている。

くんくん……んんうっ♡
オスの臭い、堪らないな♡

はあ……っ♡はあ……っ♡はあ……っ♡はあ……っ♡はあ……っ♡
ハハっ♡社長の目の前でオナニー♡
はあ……っ♡はあ……っ♡はあ……っ♡ふう……っ♡ふう……っ♡

変態のオマエにとっては最高の仕事だろ♡
オマエにはアタシに逆らうことも、命令に背くことも許されない。
いわば性奴隷だ♡

最初はあるなりに恥じらっていたのに♡
今じゃもう、当たり前のようにシコって……♡
ふふふ……このドスケベが。
ドスケベはドスケベらしくもっと早くしごけ。命令だ。

それでいい。
卑処に男のプライドなんていらなからな。ふふ。

はあ……っ♡ふう……っ♡ふう……っ♡ふう……っ♡んっ……♡
ああ……♡悪くない……♡

社長はストレスが溜まる仕事だからな♡
こういう息抜きがなければやってられない♡
ふう……っ♡ふう……っ♡はあ……っ♡ふう……っ♡ふう……っ♡
普通の女の秘書もいたが、
やはりアタシには性奴隷然とした卑処の方がいい……♡

はあ、はあ……♡
いつの間にか我慢汁まみれだな♡
はあ……っ♡はあ……っ♡ふう……っ♡ふう……っ♡ふう……っ♡

オスの臭いが部屋中に広がっていく♡
ふう……っ♡はあ……っ♡ふう……っ♡はあ……っ♡はあ……っ♡

はあ……っ♡ふう……っ♡はあ……っ♡はあ……っ♡ふう……っ♡
いいぞ……♡その調子だ♡
はあ……っ♡ふう……っ♡ふう……っ♡ふう……っ♡はあ……っ♡

社長の前だからと言って、遠慮する必要はない♡
それがオマエの仕事だから♡

はあ……っ♡はあ……っ♡んっ……♡はあ……っ♡んっ……♡
チンコ♡みっともなくヒクついてきた♡
何回も見てきたからな♡もう限界なんだろ♡

はあ……っ♡ふう……っ♡ふう……っ♡ふう……っ♡ふう……っ♡
もちろんそのまま出せ♡
正面は机だが……ハハっ♡このままだと重要書類にザー汁がついてしまう♡

んうっ……♡はあ……っ♡ふう……っ♡ふう……っ♡はあ……っ♡
だが、それがいい……♡
オマエもその方が、背徳感があるはずだ♡
さあ、チンコをイカせろ……ッ！
殺せ。殺す覚悟で……っ、イケ……ッ♡

ふう……っ♡ふう……っ♡はあ……っ♡はあ……っ♡ふう……っ♡
出せ……♡……出せ……出せ……出せ……出せ……♡
チンコイケチンコイケチンコイケ……ッ♡
はあ……っ♡はあ……っ♡はあ……っ♡ふう……っ♡はあ……っ♡
ザー汁ぶちまけろ……ッ！

ハハっ……ハハハハハハハハハハっ♡
見事な勢いだ♡
見ろ。おかげで書類のデスクも……ハハっ、椅子までザー汁まみれだ。

だがいい。おかげで疲れが吹き飛んだ。
ふう……。
オマエはちゃんと卑処の役割を理解しているようだ。

このままこのチンコをハメたいところだが……あいにく、会合があるからな。

楽しみは後にとっておくことにしよう。

オマエはこのまま後始末をしておくように。

ザー汁まみれの書類を部下に渡すわけにはいかないからな。

アタシが戻るまでにやっておくように。分かったな？

=====

■トラック 2

●場所：更衣室

おい、何を着替えているんだ？

まさか帰るつもりじゃないだろうな。

勤務時間終了？

なにそれ笑えない。

社長のアタシが残ってんのに、卑処のオマエだけ帰るのはておかしいだろ。

残業だよ残業。

……でも、服はそのまま着替えていていい。

むしろ脱げ。

そう、下着も全部だ。

靴下も……。

ふふふ……。

いまさら恥じらう体でもないだろ？

そのチンコはオマエが入社した時点でアタシのものなんだ。

さ、全部脱ぎ終えたな。

早速ここで……と思ったが、更衣室じゃベッドもないし不便だな。

休憩室に行くぞ。

(主人公：このままで？と恥じらう)

当然全裸のままに決まってるだろ。
全裸で廊下を移動しろ。
もう社内にはほとんど社員は残っていない。
誰にも会わないはずだ。
……運が良ければな。
どうせ男の裸なんて誰も喜ばん。恥じらうだけ意味ないぞ。

(藍：主人公を置いていく勢いで)

●背景：休憩室（夜）

さ、ついたな。
早速……ベッドに寝ろ。
いいや……アタシに押し倒させろ。

さあ♥始めようか♥
こっちはもうチンコをハメたくてウズウズしているんだ♥
やらせろ♥
男なんてチンコおっ勃てて女とマンコの機嫌うかがっておけばいいんだよ……ッ♥
前戯なんか必要ないだろ♥挿れるぞ♥

んあっ……♥ふっ……♥んんうっ……♥
いいぞお……♥
はあっ、はあっ、さっそく……ちょうだいする♥

ひお……♥おおあ……♥あおお……♥んひい……♥おほお……♥
仕事終わりのセックス……♥
やっぱりたまらないな……っ♥

んああ……♥いお……♥おおう……♥んひい……♥んんう……♥
このためにわざと……♥今日は射精させなかったんだ♥
おあ……♥いおお……♥おおう……♥んん……♥んお……♥

そのおかげで……おおっ♥
思った通り、チンコがバキバキだ……っ♥

お……♡んひい……♡おおあ……♡おほお……♡いおお……♡
んああ……♡ほお……♡おっ……♡ふお……♡ふお……♡
んっ……♡ふお……♡んっ……♡いおお……♡んお……♡

んう、ンッ、はあっ、はあっ。
唇も……ッ、寄越せ——♡

れろっ……♡ぢゆるっ……♡んちゅうっ……♡
ちゅくっ……♡んちゅうっ……♡
舌、もっと出せ♡
ぢゅぶるっ……♡んちゅうっ……♡おッ♡
じゅく……♡おおおッ♡ぢゅぶっ……♡

んちゅうっ……♡んんうっ……♡れろっ……♡れろちゅっ……♡じゅく……♡
んちゅうっ……♡ちゅりゅっ……♡んうう♡んじゅくっ……♡おッ♡じゅく……♡
ベロチューしながら、結局一番気持ちいいんだよな♡

ちゅぶうっ……♡んじゅくっ……♡じゅむっ……♡ちゅぶうっ……♡じゅく……♡
ぢゅぶるっ……♡ぢゅっ……♡んちゅううっ……♡おっ、おおッ♡

ふはあ……ッ。
はあっ、はあっ、ちょっと待ってろ。
もっと……っ、刺激を……ッ♡

◆頭上・近い

はあ……♡はあ……んおっ♡
ほら……おっぱい♡好きだろ♡
社長が出してやったぞ？ ありがたいだろう？
ちゅばちゅば吸え……♡

いおお……♡あお……♡ひお……♡あおお……♡んあ……♡
おおあ……♡んおっ……♡おお……♡ん……♡ん……♡
いいぞ♡その調子だ……っ♡

おおう……♡ほお……♡おおっ……♡おお……♡いおお……♡

乳首いっ……♡ベロでもっと、舐め回せ……っ♡
甘噛みも……んおっ♡忘れるなよ……っ♡

おお……♡んいい……♡あお……♡ひお……♡お……♡
んっ……♡ひお……♡いおお……♡おお……♡お……♡
んおっ……♡おお……♡おお……♡おっ……♡んおっ……♡
チンコ、さっきよりガチガチになってきたあ……っ♡

ふお……♡ふお……♡いおお……♡んっ……♡ふお……♡
んお……♡おおう……♡んおっ……♡んああ……♡おっ……♡
あおお……♡んお……♡あおお……♡ふお……♡んあ……♡

男はやっぱり、おっぱい好きだからな……っ♡
ほっ♡おおおっ♡喜んで吸え♡
はあっ、はあっ、社長の乳を吸える男なんて、極めて稀だ♡
卑処に任命されたテメェの人生、感謝しろ……ッ♡

おう……♡おお……♡あおお……♡おお……♡おほお……♡
おあ……♡おおっ……♡いお……♡んんう……♡んん……♡
これ、そろそろ……♡

いおっ♡んいっ♡んいっ♡おおっ♡いおっ♡
おおっ♡いおっ♡おっ♡ふっ♡おおっ♡
おほおっ♡おおっ♡ふっ♡おっ♡おっ♡

イクぞ？ キンタマ殺す……っ♡
仕事とザー汁は溜め込むなッ♡
アタシがみっちり……っ、閉め出してやるッ♡

いおっ♡んっ♡んおっ♡おっ♡おほおっ♡
これだこれこれえええッ♡
イグうう♡マンコ、中イキしそうだああッ♡

んおっ♡おおっ♡んいっ♡んいっ♡おほおっ♡
んいっ♡いおっ♡ふっ♡おほおっ♡おっ♡
ふっ♡んっ♡んおっ♡いおっ♡んっ♡

出せえッ♥
卑処のストレス社長にぶつけろッ♥
アタシを殺せえッ♥
おおおおッ♥ 出せえッ♥
快樂でイキ殺せえええええッッ♥

——んおおおおおおお……♥♥♥♥
きたあああ……ッッ♥
おひッ♥ おッ♥ おおおおおお……ッ♥
いいぞお♥ んおッ♥ お、おおッ♥
はあ……♥はあ……♥はあ……♥はあ……♥

ん……♥中、熱すぎる……ッ♥
はあ、はあ……っ、さて、満足だ。

ふっ……んんうっ♥

今日はもう、これで許してやろう。
残業分、ちゃんとタイムカード押しておけよ。
お疲れ。
また明日な。

=====

■トラック 3

●場所：社長室

……はあ、全然終わらない。
社長なんて、肩書きだけ聞くと華やかなのに。
要は会社全般の雑用だろ、これ。

はあ……。
おい。オマエ。

なんでぼーとしてんだ？

こういう忙しい時こそ、社長の息抜きの手伝いをするのがオマエの役目だろ。

(主人公：何をすれば？)

は？ 見てわかんない？

机の下に入ってマンコ舐めろ。今すぐに。

じかにだぞ？ パンツもパンストごと脱がしていい。

はあ～……。

ん……で……そのまま舐めろ……おっ♡

んお……♡んっ……♡おおう……♡んおっ……♡おほお……♡

んああ……♡おおあ……♡んひい……♡んんう……♡んん……♡

もっと奥……♡

舌、ねじ込んでえ……♡

ん……♡んお……♡あお……♡おおっ……♡ひお……♡

んああ……♡んん……♡んあ……♡んいい……♡ん……♡

おお……♡あおお……♡いおお……♡いおお……♡おほお……♡

おおっ……♡おあ……♡ふお……♡おおう……♡んおっ……♡

刺激、足りない……っ♡

クリも舐めろ……っ♡

あお……♡んお……♡んあ……♡おっ……♡あお……♡

あお……♡あお……♡おおあ……♡ひお……♡ん……♡

あおお……♡んんう……♡あおお……♡おおう……♡んおっ……♡

もっと強く……っ♡クリは……♡たまに吸い付きながら♡

そんなの常識だろ……っ♡

おあ……♡いお……♡んんう……♡いおお……♡んっ……♡

なに、こんな時に……っ♡

オマエはそのまま、続けてろ……っ♡

はい、アタシだけど……っ♡

ふう……ふう……ふう……ん、その件……？

それなら部長に……んうつ……♡指示出したはずだけど……っ。

はあ……♡はあ……♡はあ……♡

ん……大丈夫、なんでもないから……っ♡

とにかく、部長に確認取って……っ♡

ふう……んっ、んんうつ……♡

それでも連携取れない時は……自分で考えろ……ッ。

ったく。

はあ、はあ……ッ。

んいつ♡んいつ♡おっ♡おっ♡んいつ♡

今のお♡……ヤバかった……っ♡

さすがにエロ声え……♡社員に聞かせるわけにはいかないからあ……っ♡

んいつ♡んおっ♡おっ♡おほおっ♡おほおっ♡

ん……でも、よかった……♡

今までで一番……感じたかもしれない……っ♡

ふっ♡いおっ♡んおっ♡おおっ♡いおっ♡

おっ♡おおっ♡んいつ♡おおっ♡んいつ♡

おっ♡ふっ♡ふっ♡んおっ♡ふっ♡

今みたいに電話しながらやるの……悪くないな。

んおっ♡んいつ♡ふっ♡おっ♡んっ♡

むしろ……♡やるところ見せるとか……っ♡

いおっ♡いおっ♡おほおっ♡ふっ♡おっ♡

想像しただけで……イきそう……っ♡

んおっ♡んっ♡いおっ♡おっ♡いおっ♡

おほおっ♡んっ♡んいつ♡おおっ♡いおっ♡

おっ♡んっ♡いおっ♡おおっ♡おっ♡

舌あ……♡動き、弱まってる……っ♡

クリはもういいからあ……♡

おおっ♡ふっ♡おっ♡いおっ♡おおっ♡

マンコの奥うっ……♡

舌チンコ、ねじ込めえ……っ♡

んお♡ふっ♡おっ♡おおお……ッ♡

んっ♡おっ♡

んっ♡おおっ♡んおっ♡んっ♡ふっ♡

んおっ♡んいつ♡んっ♡ふっ♡ふっ♡

それ……いいぞ♡

おおっ♡おおっ♡んいつ♡んいつ♡んいつ♡

おほおっ♡いおっ♡んいつ♡んっ♡おほおっ♡

これなら、アタシいつ……♡

おほおっ♡んっ♡おっ♡んいつ♡おっ♡

こ……このままあ……っ♡

おほおっ♡いおっ♡ふっ♡おおっ♡んおっ♡

いおっ♡いおっ♡んいつ♡おっ♡いおっ♡

んっ♡ふっ♡んいつ♡おほおっ♡おおっ♡

——んおっ……ほおおおっ♡♡♡

おほッ♡ お、おおお……ッ♡

んくう……ッ、んんう♡ おおッ♡

そ……そのまま……♡

マンコ、掃除しろ……っ♡

おっ……♡おおう……♡あおお……♡おあ……♡いおお……♡

ひお……♡いお……♡おおあ……♡おお……♡んああ……♡

おっ……♡いお……♡おお……♡あお……♡んっ……♡

んひい……♥んんう……♥あお……♥あお……♥んひい……♥
もう、終わってよし……ッ。

ふう……ふう……ふう……ふう……♥
ご苦労。
顔あげろ。

ご褒美だ♥
んむう、チュッ、チュッ。
これからも励むように♥

=====

■トラック 4

●場所：社長室

食事の約束……？
それ、ウチの社員だろ？

最近オマエの様子がおかしいと思って覗いてみれば……。
はぁ……なにをしてんだ？
女との食事くらい、やましいことでもないだろ。

（主人公：咄嗟に謝る）

は？ 別に謝る必要はないが。
オマエがオフに誰と何をしようが興味ない。

……ただ、オマエはアタシの卑処……つまり性奴隷。相手はウチの大事な社員。
奴隷が社員に粗相させるわけにはいかないだろ。

チンコ出せ。
射精しとけば相手に発情することもないだろ。

口答えはいらん。

さ、抜くぞ？

ちゅくっ♡じゅううっ♡ちゅっ♡じゅむっ♡んちゅううっ♡

オマエのチンコは誰よりも知り尽くしてるからな。

ちゅちゅっ♡ちゅるっ♡んんうっ♡じゅむっ♡れろっ♡

どこでどう感じるのか、すべて把握している。

れろちゅっ♡じゅるっ♡れろちゅっ♡んじゅくっ♡ちゅっ♡

ちゅっ♡んじゅる♡ちゅるっ♡んちゅううっ♡ちゅむっ♡

じゅううっ♡んんうっ♡れろっ♡れろっ♡はむっ♡

ちゅるるっ♡じゅるっ♡ちゅるるっ♡ちゅぶうっ♡ちゅっ♡

ちゅくっ♡じゅるっ♡はむっ♡はむっ♡じゅるっ♡

すぐにイカせることも出来るが……♡

ちゅくっ♡んちゅっ♡んちゅううっ♡んちゅうっ♡はむっ♡

今日は焦らしてやる♡

金玉空っぽにして、社員に手出し出来ないようにな♡

ちゅるるっ♡ちゅりゅっ♡んちゅううっ♡んちゅうっ♡じゅううっ♡

じゅるっ♡ちゅくっ♡んんうっ♡ちゅりゅっ♡じゅるっ♡

ちゅむっ♡ちゅりゅっ♡じゅむっ♡れろっ♡はむっ♡

はむうっ♡ちゅりゅっ♡じゅうううっ♡ちゅぶうっ♡じゅるっ♡

じゅく♡ちゅぶうっ♡ちゅりゅっ♡ちゅちゅっ♡ちゅっ♡

知ってるか？金玉を揉むと、射精量が増えるんだぞ♡

ちゅっ♡じゅるっ♡ちゅるるっ♡じゅううっ♡ちゅじゅううっ♡

んんううっ♡れろちゅっ♡じゅるっ♡んちゅううっ♡んちゅううっ♡

軽く揉んだだけでこの反応♡

射精量も期待出来そうだな♡

ちゅむっ♡ちゅりゅっ♡ちゅくっ♡ちゅじゅううっ♡ちゅっ♡

我慢汁、出し過ぎだ♡

じゅるっ♡はむっ♡ちゅくっ♡ぢゅぶるっ♡ぢゅぢゅっ♡

社長の口をカウパーまみれにするとは、いい度胸だな♡

んぢゅううっ♡ちゅりゅっ♡れろちゅっ♡はむっ♡ぢゅっ♡

ちゅくっ♡ちゅくっ♡じゅむっ♡ちゅりゅっ♡んんうっ♡

いちいち舐め取るのも面倒だな……♡

……んうっ♡げほっ♡ぐぶふうっ……♡ぐぼっ♡……ぢゅぐっ♡

だったら直接、喉に流し込め♡

……おえっ……♡……んうっ♡……うっ♡ぐぶっ……♡ふぐっ……♡

ぢゅぐっ♡ふぐっ……♡んっ……んぶうっ♡げほっ♡……んおっ♡

うっ……じゅぐっ♡うっ……じゅぐっ♡んぐっ……♡おごっ♡うっ……じゅぐっ♡

……おえっ……♡……んうっ♡えほっ♡……うっ♡れろじゅ……♡

ぢゅぐっ……♡……んうっ♡んぐっ……♡れろじゅ……♡……んうっ♡

れろじゅ……♡……んいつ♡ぶぐふっ……♡……んっ♡……っ♡

ぶぐふっ……♡うっ……じゅぐっ♡……おえっ……♡

んっ……んぶうっ♡……んうっ♡

んぶうっ……♡ぢゅぐっ……♡んぐうっ……♡……ぢゅぐっ♡ふぐっ……♡

んぶうっ……♡んっ……んぶうっ♡ごほっ♡……んおっ♡んぐっ……♡

ぶぐふっ……♡ぢゅぐっ……♡……ぢゅぐっ♡げほっ♡じゅぐるっ……♡

ぐぶふうっ……♡んぐっ……♡れろじゅ……♡……うっ♡んっ……んぶうっ♡

……んいつ♡ふぐっ……♡……うぶっ♡……んっ♡……んうっ♡

んあっ……♡はあ……♡はあ……♡はあ……♡

チンコ、疼いてきたぞ♡

そろそろ限界だな♡

世話の焼けるチンコだ♡

このまま口の中に来るといい♡

じゅぐれろうっ♡ちゅぐむうっ♡じゅっぐっ♡じゅっぐっ♡はむじゅくうっ♡

んあっ♡ぢゅごおっ♡じゅぞっ♡れろじゅむうっ♡ぢゅぶうっ♡
じゅぐうっ♡じゅっぞっ♡んぢゅうっ♡ぢゅぐれろっ♡ぢゅううううっ♡

ぢゅぢゅうっ♡ぢゅるぢゅっ♡ぢゅぐむうっ♡ぢゅごおっ♡れろじゅむうっ♡
ぢゅぶじゅっ♡ぢゅぞおっ♡ぢゅううううっ♡はむじゅくうっ♡じゅぞっ♡
ぢゅううううっ♡じゅぞっ♡ぢゅぢゅうっ♡ぢゅぶうっ♡……んぢゅうっ♡

出せ……♡

喉の奥、思いつき……っ♡

ぢゅぐむうっ♡ぢゅごおっ♡ぢゅるぢゅっ♡ぢゅぢゅうっ♡じゅっぞっ♡
……んぢゅうっ♡ぢゅぐむうっ♡れろじゅむうっ♡
ぢゅううううっ♡はむじゅくうっ♡
イクぞ？ ぢゅるるう~~~~~ッ♡

ンううううううッ！

ごふッ、んぷっ、んん、ん……ッ、ふう、ふう……っ！

んっ……んんうっ♡

ふう……ふう……ふう……ふう……♡

んぷッ、ん……ッ！

大量じゃないか……ッ！

よくもまあ、社長相手に……ッ♡

ずずうう、ぢゅぼ♡ ぢゅるる、ぢゅッ♡

こんなもの……全部、飲んでやる……ッ♡

ん……ごくっ♡ごくッ♡ごくッ♡

はあああ……っ。

ふう……ふう……ふう……ふう……♡

これだけ出せば、金玉空っぽだろ♡

デート中に発情することもない♡

まったく、女性社員を守るのも大変だ♡

そろそろ就業時間だ。

もう上がっていいぞ。

デート、行くんだろ？

さっさと行け。

これだけ射精すれば、変な気を起こさないだろうからな。

=====

■トラック 5

●場所：ラブホテル

ああ、くそ……ッ！

あのクソジジイっ。

女社長だからって、あからさまに舐めた態度取りやがって……！

これだからジジイが代表の取引先は嫌なんだよっ。

(主人公：あ、あの)

あ？　なんだよ？

(主人公：なぜラブホテルに？)

は？　ラブホに来てやることなんて一つに決まってるだろ。

もしかして仲良くゲームでもするとか思ってんの？

ハハっ、笑える。

仕事のストレスはセックスで晴らすに限るだろ。

特にあんな老害を相手にした後は。

今日は後ろから来い。

自由に動けるから、オマエもその方がいいでしょ？

まあでも。

後ろから突かれても、アタシは絶対に男如きに屈しない。

その確認もかねて、今日は後ろから来い。

ほら。挿れやすくしてあげてやったぞ？

オマエもムラムラしてたまんないんだろ？
一日中仕事した後の、蒸れ蒸れマンコ。

チンコぶっ込んでいいから。
思いっきりハメまくれ。
……絶対に負けないぞ？

それでいい。
オマエは性奴隷の卑処……クソオヤジ共よりは役に立つ部類の男……♥

さ、ハメろ。
生ハメチンコ……、
オマエの尊厳とアタシのプライド……ぶち当ててみろ♥

ふっ……んおっ……♥
そう、その調子で奥まで……っ♥んおっ♥

んひいいい……ッ♥
お、おおっ、はあっ、はあ……ッ♥
仕事とビール、仕事とチンコ……、
やはり、長い人生には……それなしで生きられないものが大事だな……♥
んう、突け♥
手加減するなよ？

いお……♥んあ……♥いおお……♥ん……♥ん……♥
おっ……♥おおあ……♥んお……♥ん……♥おおあ……♥

ほんとに、それがオマエの力か？
はあっ、はあ……ッ、こんなの、マンコ突きたての童貞学生だぞ？
んんうう、んお、オッ、アタシが、この程度で満足するとでも？

はあ♥はあ♥んくう、んっ、んう……♥
んう、ンッ、ん、はあっ、んう♥
満足か？
アタシをイカせたいなら、どうするのかわかるな？

んんう……♡ふお……♡んんう……♡おお……♡おあ……♡
ん……♡さっきより、いい感じになってきた……っ♡

ふお……♡あおお……♡いおお……♡んおっ……♡ひお……♡
いおお……♡んああ……♡おお……♡おお……♡あお……♡
腰へコ……♡いい具合だ……っ♡

んお……♡おあ……♡おお……♡ほお……♡んんう……♡
んいい……♡んん……♡おお……♡いおお……♡おほお……♡
その調子いっ……♡

これなら……ちゃんと感じる……っ♡
んいい……♡んっ……♡んんう……♡んお……♡お……♡
おお……♡あお……♡お♡あお……♡おおっ……♡

お……♡ん……♡んおっ……♡おおう……♡おう……♡
どうした？ チンコ膨らみすぎだぞ？
これ……チンコ、出そうか？
だったらストップ……。
腰、止めろ……っ。

んっ……♡んああ……♡あお……♡いお……♡んっ……♡
聞こえただろ……っ。
チンコ止めろって言うてんの……っ。

んあ……♡ん……♡ん……♡いお……♡んんう……♡
言っとくが社長命令だ。
んいい……♡ん……♡おほお……♡ひお……♡いお……♡
止めなきや減給だぞ？

ふう……っ♡ふう……っ♡ふう……っ♡はあ……っ♡はあ……っ♡
ハハっ♡チンコ、マンコの中でヒクってる♡
もどかしいんだろ♡チンコ♡

このままイけると思った？

中出し出来るって期待した？
……だから男はバカなんだよ。

最初に言っただろ？
アタシは後ろから突かれても、絶対に屈しないって。

仕事でもセックスでも同じ。
主導権はアタシだ。

……もどかしい？
なら……イカせてみろ。

おおあ……♡いお……♡ほお……♡お……♡お……♡
さっきより……強いっ……♡
奥……♡チンコ、ズンズン来てる……っ♡

ん……♡いおお……♡いおお……♡んああ……♡んん……♡
んああ……♡んおっ……♡ひお……♡おおっ……♡あお……♡
そんなに我慢させられたの……つらかったか？

おほお♡おお♡ふお……♡んおっ……♡いお……♡
……いい気味♡
男だからって、調子に乗ってる証拠だろ♡

おおっ……♡んん……♡んいい……♡んおっ……♡おほお……♡
先に言っとくが……っ♡
アタシの許可なしに、出すの禁止だから……っ♡

おお……♡いおお……♡おお……♡お……♡んお……♡
おお……♡いおお……♡んいい……♡おあ……♡ふお……♡
オマエがイっていいのは、アタシが満足した後……っ♡

んお……♡あお……♡んお……♡ほお……♡んんう……♡
だがッ、ノルマ達成だな……ッ、オオオオオオオオオッ♡

——んおっ……おおおおっ♡♡♡

はっ……♥はあっ……♥はあっ……♥

腰い♥そのまま……っ♥

中イキした後に突かれるのが……んおっ♥

気持ちいいんだから……っ♥

いおお……♥おおっ……♥おおあ……♥んんう……♥んおっ……♥

いいぞいいぞおおおッ♥

んうう！　ちょっ——おおおおッ♥

おほおっ♥いおっ♥おおっ♥おおっ♥おっ♥

オマエ……♥何勝手に、腰振り速くしてんだ……ッ！

んおっ♥おほおっ♥んいつ♥ふっ♥んおっ♥

チンコ、我慢できない……？

おほおっ♥んいつ♥んっ♥ふっ♥ふっ♥

卑処の分際でえ……ッ！

だがっ、アッ、アアッ♥

イカせた実績を評価して……ッ、はあっ、はあッ♥

射精許可、出してやる……っ♥

おっ♥ふっ♥んっ♥おっ♥おおっ♥

んっ♥んいつ♥おおっ♥んっ♥んっ♥

おっ♥おおっ♥んおっ♥おほおっ♥いおっ♥

これえ♥またイグ……っ♥

オマエもイケええッ♥

オッ♥　オオオオオオオオオオオッ♥

——おおほおおおおお～～～っ♥♥♥

ふあ……♥はっ……♥はあっ……はあっ……♥

さすがに、大量だ……ッ♥

おほッ、お、おおおおお……♥

チンコの方が、イクの少し早かったけど……まあいい。

マンコもちゃんとイけたからな。

はあ……はあ……はあ……はあ……♥

はあ〜〜〜〜……。

やっぱり仕事のストレスは、チンコで晴らすに限る♥
出先でもすぐにやれるように、いつでも精液を蓄えておくように。
ああそれと、今日は泊まりだ。

(主人公：え……っ)

なんで嫌そうなんだ？
こんな美人と一緒に寝れるんだぞ？
ま、ピロートークするまでにからっからに搾りとってやるがな♥

=====

■トラック 6

●場所：休憩室

なんだ、まだ残ってたのか？
お疲れ。
ちょっと面白いことを考えたんだが……

どうする？
今からオマエに下剋上のチャンスをやろ♥

(主人公：下剋上？)

言った通りだ♥
今からセックスしてアタシをメス堕ちさせられたら、今後は立場を逆転してやる♥
オマエは卑屈だ。
だがオマエが退職届を出し、オマエが辞めようものなら引き留める術はない。
そこで、オマエの息抜きのためにもアタシへのやり返しのチャンスをやろ。

疲れてるだろ？
顔を見ればわかる。
いいチャンスだと思わないか？

アタシがオマエの性処理係になってやるってことだぞ？

どうする？

悪い話じゃないと思うが。

(主人公：のります)

よし。

じゃあ……来い。

ちょうど休憩室だし……ココでヤッてやる。

好きにしていーいぞ？

んっ！

大胆な男……♥

悪くない♥

約束は守ってやる♥

……ただし、アタシをメス堕ちさせられなかったら、

その時は今まで以上の仕事を与える♥

その覚悟があるなら、お手並み拝見といーうか♥

ハハっ♥いーいぞ♥そうこなくちやな♥

さあ来い♥ねじ込め♥

オマエのチンコでアタシを満足させてみろ♥

ふふっ、楽しみだな。

オマエプロデュースのセックスは初めてだ。

オマエのテクと人生経験……それを肯定するためにも、

アタシをめちやくちやにしないとな？

じゃないと……オマエは一生性奴隷だ♥

……準備できたか？

来い♥ オマエが破いたパンストのあいだから、

その汗臭いチンコをねじ込め……♥

ふっ……あっ♥んんうっ……♥

んああ……ッ♥

はあっ、はあ……ッ♥

さあ、すぐ始めろ？ 膣が勝手に締まって……チンコいじめるぞ？

おおっ……♥んいい……♥おおっ……♥んん……♥ほお……♥

いいぞ……♥

いつになくがつついてるじゃないな……っ♥

おあ……♥あおお……♥んお……♥んん……♥いおお……♥

ほお……♥んひい……♥おおっ……♥ひお……♥おおあ……♥

だが、激しいだけでアタシをメス堕ちさせられるのか……？

おっ……♥おっ……♥おおっ……♥あお……♥んっ……♥

おっ……♥いおお……♥おおっ……♥おっ……♥お♥

おおっ……♥いお……♥おおっ……♥んんう……♥おおあ……♥

はむっ……♥れろじゅりっ……♥ぢゅくうっ……♥ちゅむっ……♥ちゅるるっ……♥

ぢゅくうっ……♥じゅるちゅっ……♥……んんうっ……♥

んちゅっ……♥れろっ……♥

ハハっ♥何を驚いている♥

誰もアタシが手を出さないとは言っていないだろ♥

じゅるうっ……♥ちゅぶっ……♥……ふう……♥……ふう……♥ぢゅくうっ……♥

おッ♥おッ♥

ぢゅるうっ……♥れろっ……♥ふう……ふう……♥

んちゅっ……♥じゅくじゅうっ……♥

チンコ、大丈夫か？かなりヒクってるぞ♥

ぢゅくっ……♥れろちろっ……♥れろじゅりっ……♥

じゅるっ……♥じゅくじゅうっ……♥

仕方が無いか♥

オマエは耳が弱いからな♥

じゅるちゅっ……♥ちゅむるっ……♥ちゅくうっ……♥ふう……ふう……♥ちゅむっ

……♥おおッ、ん、おッ♥

だから耳フェラしてるんだけどな♥

じゅるくっ……♡ちゅうっ……♡はむうっ……♡ふう……ふう……♡んちゅっ……♡
アタシが一方的にやられるだけの女じゃないこと♡分かってるはずだろ♡

ちゅむっ……♡ちゅうっ……♡じゅるちゅっ……♡ちゅくっ……♡ちゅくうっ……♡
おおお……ッ、んうう、んッ♡
ハハっ、どうした？
チンコ、かなりつらそうだぞ♡

……ふう……♡……んんうっ……♡じゅるうっ……♡……ふう……♡ちゅぶっ……♡
んちゅじゅるっ……♡れろっ……♡じゅるちゅっ……♡
じゅぶ……♡ちゅるうっ……♡
出したいんだろ♡ザー汁♡

トロトロマンコの中♡注ぎこみたくて、仕方ないのが伝わってくる♡
んちゅふう……♡れろちろっ……♡じゅぶ……♡はむっ……♡じゅるっ……♡
……んんうっ……♡はむうっ……♡
んちゅふう……♡んんうっ……♡ちゅるるっ……♡

もちろん出していい♡……ただし、その時点で負け確定だが♡
ちゅむっ……♡れろじゅりっ……♡れろじゅりっ……♡はむっ……♡ちゅむっ……♡
んちゅっ……♡ちゅるるっ……♡ちゅうっ……♡
じゅくじゅうっ……♡れろじゅりっ……♡

負け犬チンコだと認めることになる♡
それでいいなら……出せ♡
ぢゅくうっ……♡ちゅむるっ……♡出せ……♡んちゅじゅるっ……♡じゅぶ……♡

ふはあ……っ。
出せ……出せ……出せ……出せ……♡
チンコイケ……ッッ！

ふっ……♡んんうっ♡
アッああッ♡おおお……んく、んッ♡
はあ……♡はあ……♡はあ……♡はあ……♡
……ホントにイッた♡

自分だけイクなんて、オスとしてどうなんだ♥
みっともないことこの上ない♥

……悔しいか？
だったらもう一度だけチャンスをやろ♥

ただし、今度こそ絶対にアタシをメス堕ちさせること♥
じゃないと、一生アタシの卑処確定だぞ♥

心して腰を振れ♥
おお♥んああ♥おお♥んお♥おお♥
ん……♥いお……♥いお……♥お♥おお♥
ん……♥さっきよりいい♥

少しはオスとしてのプライド……♥出てきたみたいだな♥
ん……♥おう♥いお……♥んお♥んっ♥
いおお♥おおう……♥おお♥おお♥おあ♥

だが、この程度で満足か……？
あお♥おほお♥お♥んん♥おあ♥
おお♥おおう♥おっ♥おっ♥ひお♥

これじゃメス堕ちには……ほど遠い♥
お♥んっ♥おっ♥んあ♥んんう♥
おお♥いおお♥いお♥おお♥ひお♥
こっちも、責めるぞ♥

じゅるっ♥じゅるっ♥ちゅくっ♥んちゅうっ♥じゅるっ♥
んちゅっ♥んんうっ♥ちゅるるっ♥ぢゅりゅっ♥ぢゅぶるっ♥
……ハハっ♥ベロチンコも休んでる暇はないだろ？

ぢゅりゅっ♥ぢゅぶっ♥ちゅくっ♥ぢゅぶるっ♥んんうっ♥
ぢゅっ♥れろっ♥ちゅるるっ♥んちゅうっ♥れろっ♥
もっと強く擦りつけろ……っ♥
オッ♥おおおッ♥

じゅるっ♥はむっ♥じゅるっ♥
その調子だ……っ♥
れろっ♥れろっ♥ぢゅぶるっ♥ぢゅっ♥ぢゅぶっ♥

これなら……♥アタシもなんとか、イケそうだ……っ♥
れろっ♥じゅうっ♥ちゅくっ♥れろちゅっ♥じゅむっ♥
オッ、おおおッ♥
ぢゅりゅっ♥ぢゅぶるっ♥ちゅくっ♥
ん？ どうした？

ンうううううう♥んいつ♥んっ♥んいつ♥ふっ♥
このタイミングで、ガン突き……っ♥
いい判断だな……っ♥

おっ♥んっ♥ふっ♥おほおっ♥んおっ♥
これえ……♥大チャンスだぞ……っ♥
アタシをお……♥社長をメス堕ちさせる、絶好の機会だ……っ♥

おほおっ♥おおっ♥んいつ♥いおっ♥おっ♥
おおっ♥おおっ♥んおっ♥んっ♥おほおっ♥
そのまま、続けろ……っ♥

おおっ♥ふっ♥おほおっ♥おっ♥おっ♥
ふっ♥いおっ♥おおっ♥おほおっ♥んおっ♥
チンコ、ヤバいんじゃないか……っ♥

せめてアタシがイクまで……我慢をお……♥
おほおっ♥んっ♥んいつ♥おっ♥おおっ♥
んっ♥いおっ♥んっ♥おほおっ♥おっ♥

んいつ♥んいつ♥いおっ♥ふっ♥おおっ♥
おっ♥おっ♥ふっ♥おっ♥んいつ♥
おお〜〜〜〜ッ！
アタシがッ、もおおお♥ いぐッ♥ いぐううううッ♥
マンコ死ぬううううううううッ♥♥

——んお……おおおほおおおおおお♡♡♡

オオオオオオッ♡ おほッ、お、おおおおッ♡

ざ、ザコは、どっちだ……ッ♡

はあ……♡はあ……♡はあ……んんうっ♡

はあ……はあ……はあ……♡

なかなかだった♡

だが……残念だったな♡

イクにはいったが、メス堕ちしたわけじゃない♡

これでオマエはこれからも、アタシの専用の卑処決定♡

今まで通り、いつでもどこでも生ディルドとして使ってやる♡

……ハハッ、悔しい？

だったらまた、メス堕ちさせるチャンスあげる♡

というか、勝てると思った？

アタシがオマエを手放すわけないだろ。

これからはオマエの退職届は受理しないし、

転勤もさせない。

一生アタシの可愛い性奴隷♡

オマエの頑張り次第で彼氏に昇格してあげなくもない。

ま、頑張りなさい。

チンコ君♡